

定 期 作 況 報 告

令和6年11月
(11月20日現在)



北見農業試験場

1. 気象経過

1) 融雪期以降の経過

4月：平均気温は上旬が平年よりやや高く、中旬が極めて高く、下旬がやや高かった。月平均気温は8.2℃で平年より極めて高かった(+2.9℃)。降水量は上旬が平年並、中旬が少なく、下旬がやや少なかった。月合計は30.5mmで平年よりやや少なかった(-18.5mm)。日照時間は上旬がやや多く、中旬がやや多く、下旬がやや少ない。月合計は205.3時間で平年より平年並であった(+8.9時間)。

5月：平均気温は上旬が平年より低く、中旬が極めて高く、下旬が極めて低かった。月平均気温は11.4℃で平年よりやや低かった(-0.6℃)。降水量は上旬が平年並、中旬がやや多く、下旬が多かった。月合計は70.5mmで平年よりやや多かった(+14.2mm)。日照時間は上旬が平年並、中旬が平年並、下旬が少ない。月合計は182.5時間で平年より平年並であった(-12.4時間)。

6月：平均気温は上旬が平年より平年並、中旬が極めて高く、下旬がやや高かった。月平均気温は16.2℃で平年よりやや高かった(+1℃)。降水量は上旬が少なく、中旬が少なく、下旬が平年並であった。月合計は43.5mmで平年より少なかった(-37mm)。日照時間は上旬がやや多く、中旬が平年並、下旬が平年並であった。月合計は184.1時間で平年より平年並であった(+26時間)。

7月：平均気温は上旬が平年より極めて高く、中旬が高く、下旬が平年並であった。月平均気温は21.8℃で平年より高かった(+1.8℃)。降水量は上旬が少なく、中旬が平年並、下旬が極めて多かった。月合計は110mmで平年より平年並であった(+14.9mm)。日照時間は上旬がやや多く、中旬がやや多く、下旬が少ない。月合計は181.5時間で平年より平年並であった(+4.7時間)。

8月：平均気温は上旬が平年よりやや高く、中旬が高く、下旬が極めて高かった。月平均気温は21.9℃で平年より高かった(+2.1℃)。降水量は上旬が極めて多く、中旬が少なく、下旬が平年並であった。月合計は220.5mmで平年よりやや多かった(+44.6mm)。日照時間は上旬が平年並、中旬がやや多く、下旬が平年並であった。月合計は150.7時間で平年より平年並であった(+9.1時間)。

9月：平均気温は上旬が平年より高く、中旬がやや高く、下旬が平年並であった。月平均気温は16.6℃で平年よりやや高かった(+0.7℃)。降水量は上旬が少なく、中旬がやや少なく、下旬がやや多かった。月合計は66.5mmで平年よりやや少なかった(-33.1mm)。日照時間は上旬が多い、中旬が平年並、下旬が平年並であった。月合計は190.9時間で平年より平年並であった(+31.2時間)。

10月：平均気温は上旬が平年よりやや高く、中旬が高く、下旬が極めて高かった。月平均気温は10.4℃で平年より高かった(+1.8℃)。降水量は上旬が平年並、中旬が多く、下旬が平年並であった。月合計は88.5mmで平年より平年並であった(+14.3mm)。日照時間は上旬がやや少なく、中旬がやや多く、下旬が平年並であった。月合計は168.4時間で平年より平年並であった(-0.1時間)。

11月：平均気温は上旬が平年よりやや低く、中旬がやや高かった。月平均気温(下旬を除く)は3.1℃で平年並みであった(-0.2℃)。降水量は上旬、中旬とも少なかった。月合計は2mmで平年より少なかった(-35.8mm)。日照時間は上旬、中旬とも平年並であった。月合計は83.5時間で平年並であった(-7.3時間)。

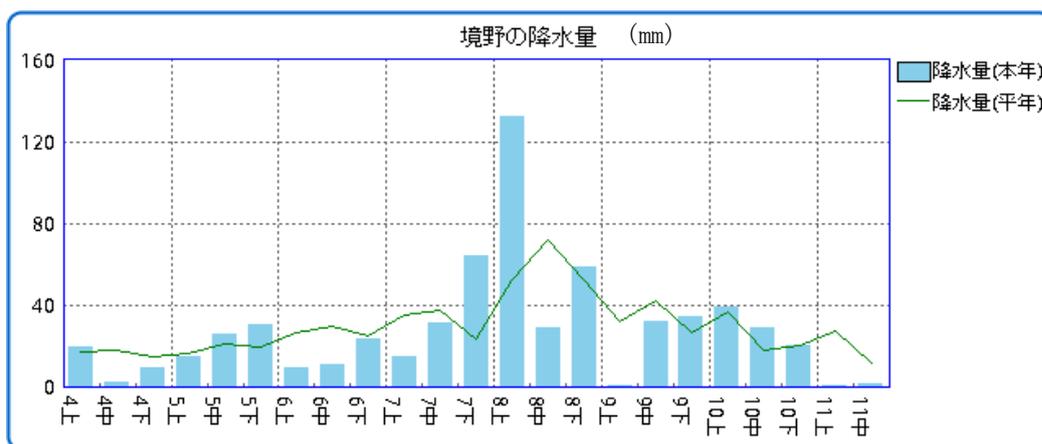
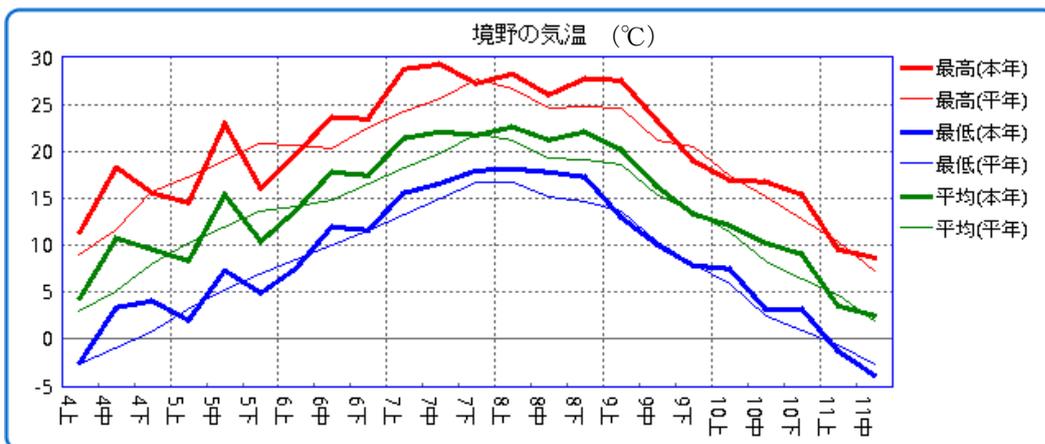
農耕期間中(5月～9月)の気温、降水量および日照時間の推移を平年と比較すると以下のとおりである。

気温：5月はやや低く、6月はやや高く、7月・8月は高く、9月はやや高かった。この期間の日平均気温の積算値は2690.8℃であった(平年差154.3℃、平年比106%)。

降水量：5月は平年よりやや多く、6月は少なく、7月は平年並、8月はやや多く、9月はやや少なかった。この期間の降水量の積算値は511.0mmであった(平年差3.3mm、平年比101%)。

日照時間：5月・6月・7月・8月・9月とも平年並であった。この期間の日照時間の積算値は889.7時間であった(平年差58.5時間、平年比107%)。

2) 気温、降水量および日照時間の平年との比較



3) 気象表

年月	旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
		本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較									
2024年	上旬	4.4	2.9	1.5	11.5	9.0	2.5	-2.4	-2.7	0.3	19.5	16.7	2.8	82.8	63.1	19.7
4月	中旬	10.7	5.0	5.7	18.3	11.5	6.8	3.4	-1.0	4.4	2.0	17.4	-15.4	73.5	60.7	12.8
	下旬	9.5	8.0	1.5	15.6	15.6	0.0	4.1	0.7	3.4	9.0	14.9	-5.9	49.0	72.6	-23.6
5月	上旬	8.4	10.2	-1.8	14.6	17.3	-2.7	2.0	3.2	-1.2	14.5	16.0	-1.5	65.5	57.5	8.0
	中旬	15.4	11.9	3.5	22.9	19.0	3.9	7.3	5.2	2.1	25.5	20.9	4.6	82.3	69.0	13.3
6月	下旬	10.4	13.7	-3.3	16.0	20.8	-4.8	4.9	7.0	-2.1	30.5	19.5	11.0	34.7	68.4	-33.7
	上旬	13.6	14.1	-0.5	19.6	20.6	-1.0	7.4	8.4	-1.0	9.5	26.6	-17.1	75.6	55.3	20.3
7月	中旬	17.7	14.8	2.9	23.6	20.3	3.3	12.0	10.0	2.0	11.0	29.4	-18.4	55.1	51.3	3.8
	下旬	17.4	16.6	0.8	23.5	22.5	1.0	11.6	11.5	0.1	23.0	24.6	-1.6	53.4	51.5	1.9
8月	上旬	21.4	18.2	3.2	28.8	24.2	4.6	15.6	13.2	2.4	15.0	35.0	-20.0	65.2	52.3	12.9
	中旬	22.1	19.8	2.3	29.3	25.6	3.7	16.6	15.0	1.6	31.0	36.9	-5.9	77.1	55.3	21.8
9月	下旬	21.8	21.8	0.0	27.2	27.7	-0.5	17.9	16.7	1.2	64.0	23.2	40.8	39.2	69.3	-30.1
	上旬	22.5	21.1	1.4	28.3	26.6	1.7	18.1	16.7	1.4	132.5	52.3	80.2	48.1	49.9	-1.8
10月	中旬	21.2	19.3	1.9	26.0	24.6	1.4	17.7	15.1	2.6	29.0	71.5	-42.5	50.6	40.8	9.8
	下旬	22.0	19.1	2.9	27.7	24.7	3.0	17.2	14.6	2.6	59.0	52.2	6.8	52.0	50.9	1.1
11月	上旬	20.2	18.6	1.6	27.6	24.6	3.0	13.0	13.6	-0.6	0.5	31.6	-31.1	90.4	53.9	36.5
	中旬	16.3	15.3	1.0	23.2	21.1	2.1	10.1	10.3	-0.2	32.0	41.6	-9.6	51.3	47.7	3.6
12月	下旬	13.3	13.7	-0.4	18.9	20.4	-1.5	7.8	8.0	-0.2	34.0	26.4	7.6	49.2	58.1	-8.9
	上旬	12.1	11.4	0.7	17.0	17.4	-0.4	7.5	5.9	1.6	39.0	36.7	2.3	40.3	52.1	-11.8
1月	中旬	10.2	8.3	1.9	16.7	15.1	1.6	3.2	2.4	0.8	29.0	17.4	11.6	69.7	57.4	12.3
	下旬	9.0	6.4	2.6	15.3	12.8	2.5	3.2	0.9	2.3	20.5	20.1	0.4	58.4	59.0	-0.6
2月	上旬	3.6	4.7	-1.1	9.6	10.4	-0.8	-1.3	-0.6	-0.7	0.5	26.7	-26.2	43.5	43.4	0.1
	中旬	2.5	1.9	0.6	8.7	7.2	1.5	-3.8	-2.7	-1.1	1.5	11.1	-9.6	40.0	47.4	-7.4
		平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
		本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較									
4月		8.2	5.3	2.9	15.1	12.0	3.1	1.7	-1.0	2.7	30.5	49.0	-18.5	205.3	196.4	8.9
5月		11.4	12.0	-0.6	17.8	19.1	-1.3	4.7	5.2	-0.5	70.5	56.3	14.2	182.5	194.9	-12.4
6月		16.2	15.2	1.0	22.2	21.1	1.1	10.3	10.0	0.3	43.5	80.5	-37.0	184.1	158.1	26.0
7月		21.8	20.0	1.8	28.4	25.9	2.5	16.7	15.0	1.7	110.0	95.1	14.9	181.5	176.8	4.7
8月		21.9	19.8	2.1	27.3	25.3	2.0	17.6	15.4	2.2	220.5	175.9	44.6	150.7	141.6	9.1
9月		16.6	15.9	0.7	23.3	22.0	1.3	10.3	10.6	-0.3	66.5	99.6	-33.1	190.9	159.7	31.2
10月		10.4	8.6	1.8	16.3	15.0	1.3	4.6	3.0	1.6	88.5	74.2	14.3	168.4	168.5	-0.1
11月(中旬まで)		3.1	3.3	-0.2	9.2	8.8	0.4	-2.6	-1.7	-0.9	2.0	37.8	-35.8	83.5	90.8	-7.3

注) 観測値は置戸町境野のアメダスによる(てん蔵の定期作況気象情報)。10年平均は前10か年の平均値である。

4) 季節表および農耕期間の平均気温、降水量、日照時間の積算値

年次	初霜	根雪始	通常の根雪終	積雪期間	降雪終	耕鋤始	晩霜	初霜	無霜間	降雪始
	(年.月.日)	(年.月.日)	(年.月.日)	(日)	(年.月.日)	(年.月.日)	(年.月.日)	(年.月.日)	(日)	(年.月.日)
本年	2023.10.17	2023.12.16	2024.4.4	111	2024.5.8	2024.4.17	2024.5.9	2024.10.14	157	2024.10.20
平年	10.13	12.10	4.5	117	4.24	4.22	5.10	10.14	155	11.7
比較	4	6	-1	-6	14	-5	-1	0	2	-18

期間	項目	平均気温	降水量	日照時間
		(℃)	(mm)	(hr)
5月上旬 ~ 9月下旬	本年	2,690.8	511.0	889.7
	10年平均	2,536.5	507.7	831.2
	比較	154.3	3.3	58.5

注) 農耕期間の積算値は置戸町境野のアメダスにより、それ以外は北見農試観測値である。
平年値は前10か年の平均値である。

付表1 各作物の耕種概要

作物名	一区面積 (m ²)	反復	前作物	畦幅 (cm)	株間 (cm)	一株 本数	播種粒数 (粒/m ²)	播種量 (kg/10a)	株数 (株/10a)
1. 秋まき小麦	5.4	4	ひまわり	20	ドリル	—	255	—	—
2. 春まき小麦	6.0	4	緑肥大豆	30	条播	—	340	—	—
3. とうもろこし	11.2	3	緑肥えん麦	75	17.8	1	—	—	7,491
4. 大 豆	9.6	3	緑肥そば	60	20	2	—	—	8,333
5. 小 豆	9.6	3	緑肥そば	60	20	2	—	—	8,333
6. 菜 豆	9.6	3	緑肥そば	60	20	2	—	—	8,333
7. ばれいしょ	37.8	3	緑肥えん麦	75	30	1	—	—	4,444
8. てんさい	39.6	3	緑肥野生えん麦	60	23.8	1	—	—	7,003
9. 牧 草 (チモシー)	2.7	4	緑肥えん麦	30	条播	—	—	2.0	—

付表2 各作物の耕種概要

作物名	施肥量 (kg/10a)						備考
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	堆肥	その他	
1. 秋まき小麦	5.6	17.5	7.0	3.5	—	起生期追肥 N : 5.0	2年目草地 年間3回分施
2. 春まき小麦	10.0	18.0	12.0	5.0	—		
3. とうもろこし	14.0	22.0	12.0	4.0	3,000	炭カル : 150	
4. 大 豆	1.8	15.0	7.8	3.0	—		
5. 小 豆	4.0	20.0	11.2	4.0	—		
6. 菜 豆	4.0	20.0	11.2	4.0	—		
7. ばれいしょ	8.0	20.0	14.0	5.0	—		
8. てんさい	15.0	30.0	12.3	6.8	—		
9. 牧 草 (チモシー)	15.0	15.0	15.0	3.0	—	〔 造成時 炭カル : 200 ダブリン : 30 〕	

2. 当場の作況

注) 本作況報告は北海道立総合研究機構北見農業試験場の平年値に対する生育良否に基づいたものであり、網走管内全体を代表するものではありません。

1) 秋まき小麦（令和5年9月播種） 作況：良

月	作況	事由
11月20日	良	<p>播種期は平年より4日遅い9月25日であった。出芽期は平年より3日遅い10月1日であった。播種が遅かったが、出芽期以降、平均気温が平年より高く経過したため、越冬前の草丈は平年並みで茎数は平年を上回った。根雪始は平年より6日遅い12月16日、根雪終は平年より1日早い4月4日で、根雪期間は平年より6日短かった。作況の調査圃場は融雪剤を散布したため、融雪期が根雪の観測地点より6日早く3月29日であった。雪腐病の発生は僅かに認められた。コムギ縮萎病が発生し一部に萎縮症状が認められたが、融雪後の平均気温が平年に比べ4月は高く経過したため、出穂期は平年より3日早い6月5日であった。6月下旬から7月中旬の気温は高く推移したため、登熟は平年よりやや早く進み、成熟期は平年より5日早く7月18日だった。登熟期間は平年より2日短くなった。稈長は平年を上回り、穂長は平年並み、穂数は平年を上回った。穂数が平年を上回ったこと、7月上、中旬の日照時間が長かったことにより、子実重は平年比129%であった。リットル重、千粒重ともに平年並だった。検査等級は1等であった。</p> <p>これらのことから、本年の作況は良である。</p>

生育データ

品種名		きたほなみ		
項目／年次		本年	平年	比較
播種期	(令和5年月.日)	9.25	9.21	4
出芽期	(令和5年月.日)	10.01	9.28	3
出穂期	(令和6年月.日)	6.05	6.08	△ 3
成熟期	(令和6年月.日)	7.18	7.23	△ 5
草丈 (cm)	(令和5年11月20日)	15.4	15.3	0.1
	(令和6年5月20日)	49.0	35.1	13.9
	(令和6年6月20日)	81.9	81.9	0.0
茎数 (本/m ²)	(令和5年11月20日)	1263	1048	215
	(令和6年5月20日)	1429	1433	△ 4
	(令和6年6月20日)	839	767	72
成熟期	稈長 (cm)	84	75	9
	穂長 (cm)	8.3	8.2	0.1
	穂数 (本/m ²)	876	685	191
子実重 (kg/10a)		826	641	185
同上平年比 (%)		129	100	29
リットル重 (g)		784	787	△ 3
千粒重 (g)		38.5	38.4	0.1
品質 (検査等級)		1	1	-

注) 平年値は前7か年中、令和元年(最豊)、令和4年(最凶)を除く5か年の平均。

2) 秋まき小麦（令和6年9月播種）

作 況：やや良

月	作況	事由
令和6年 11月20日	やや良	播種期は平年より2日早い9月19日であった。出芽期は平年より2日早い9月27日であった。出芽期以降、平均気温が10月上旬から中旬は平年よりやや高く、10月下旬が極めて高く経過したため、越冬前の草丈は平年より高く、茎数は平年より多かった。 以上のことから、目下の作況は「やや良」である。

生育データ

品種名		きたほなみ		
項目／年次		本年	平年	比較
播種期	(令和6年月.日)	9.19	9.21	△ 2
出芽期	(令和6年月.日)	9.27	9.29	△ 2
出穂期	(令和7年月.日)		6.07	
成熟期	(令和7年月.日)		7.22	
草丈 (cm)	(令和6年11月20日)	22.0	15.7	6.3
	(令和7年5月20日)		38.0	
	(令和7年6月20日)		81.0	
茎数 (本/m ²)	(令和6年11月20日)	1959	1164	795
	(令和7年5月20日)		1516	
	(令和7年6月20日)		805	
成熟期	稈長 (cm)		76	
	穂長 (cm)		8.1	
	穂数 (本/m ²)		733	
子実重 (kg/10a)			663	
同上平年比 (%)			100	
リットル重 (g)			782	
千粒重 (g)			38.3	
品質 (検査等級)			1	

注) 平年値は前7か年中、令和元年(最豊)、令和4年(最凶)を除く5か年の平均。

3) 春まき小麦 作況：良

月	作況	事由
11月20日	良	<p>調査圃場は融雪剤散布により3月28日に融雪期となった、播種期は平年より1日遅い4月15日となった。4月中旬の平均気温が極めて高く、4月下旬はやや高かったため、出芽期は2日早くなった。出穂期は平年並～1日早かった。平年と比較して稈長は並～やや長く、穂長は並～長く、穂数はやや少なかった。</p> <p>倒伏はほとんど見られなかったが、気温が高く推移したことから「春よ恋」で赤さび病の発生が多く、赤かび病の発生はわずかに見られた。7月上旬の平均気温が極めて高く、中旬は高く推移したことから、成熟期は平年より7日早く、登熟期間は平年より6～7日短かったものの、子実重は平年比110～124%で平年を上回った。リットル重は平年並～やや重く、千粒重は平年並～軽かった。検査等級は1等であった。</p> <p>以上のことから、本年の作況は「良」である。</p>

作況データ

調査項目	春よ恋			はるきらり			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
播種期 (月.日)	4.15	4.14	1	4.15	4.14	1	
出芽期 (月.日)	4.26	4.28	△ 2	4.27	4.29	△ 2	
出穂期 (月.日)	6.18	6.19	△ 1	6.17	6.17	0	
成熟期 (月.日)	7.28	8.4	△ 7	7.31	8.7	△ 7	
草丈(cm)	(5月20日)	31.4	21.5	9.9	31.6	23.1	8.5
	(6月20日)	83.2	71.5	11.7	83.1	71.7	11.4
茎数(本/m ²)	(5月20日)	943	665	278	911	647	265
	(6月20日)	751	771	△ 20	648	739	△ 91
稈長(cm)	(7月20日)	97	93	4	95	90	5
穂長(cm)	(7月20日)	8.8	8.5	0.3	8.4	7.8	0.6
穂数(本/m ²)	(7月20日)	594	669	△ 75	563	669	△ 106
子実重(kg/10a)		548	500	48	639	516	123
同上平年比 (%)		110	100	10	124	100	24
リットル重 (g)		788	782	6	795	782	13
千粒重 (g)		36.3	39.5	△ 3.2	40.9	41.3	△ 0.4
品質 (検査等級)		1	1	-	1	1	-

注) 平年値は前7か年中、令和3年(最豊)、平成29年(最凶)を除く5か年の平均。

4) とうもろこし (サイレージ用)

作 況 : 平年並

月日	作況	事由
11月20日	平年並	播種は平年より7日遅い5月23日、出芽期は平年より2日遅い6月6日であった。播種直後は気温が低かったものの、6月中旬以降は高温で経過し、雄穂開花期は平年より1日早く、絹糸抽出期は平年と同日であった。以降も高温で経過し、登熟が平年よりやや早く進んだ。収穫期は平年より1日早い9月25日であり、収穫時の熟度は黄熟中期と平年よりやや早く進んでいた。稈長は平年並であった。総体の乾物率は2.4ポイント高く、乾物総重および推定TDN収量は平年比96%および98%と平年並であった。 以上のことから、本年の作況は「平年並」である。

生育データ

調査項目		KD320		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.23	5.16	7
出芽期	(月.日)	6.06	6.04	2
開花期	(月.日)	7.31	8.01	△ 1
抽糸期	(月.日)	7.31	7.31	0
収穫期	(月.日)	9.25	9.26	△ 1
収穫時の熟度		黄熟中期	黄熟初期～ 黄熟中期	-
草丈 (cm)	(6月20日)	29.6	29.2	0.4
	(7月20日)	188.3	181.2	7.1
	(8月20日)	277.7	279.8	△ 2.1
稈長 (cm)	(9月20日)	244	252	△ 8
葉数 (枚)	(6月20日)	4.6	4.8	△ 0.2
	(7月20日)	13.1	12.8	0.3
	(8月20日)	15.6	15.2	0.4
生総重 (kg/10a)		5754	6564	△ 810
乾物茎葉重 (kg/10a)		826	997	△ 171
乾物雌穂重 (kg/10a)		1150	1066	84
乾物総量 (kg/10a)		1976	2063	△ 87
同上平年比 (%)		96	100	△ 4
推定TDN収量 (kg/10a)		1458	1486	△ 28
同上平年比 (%)		98	100	△ 2
総体の乾物率 (%)		34.3	31.9	2.4
乾雌穂重割合 (%)		58.3	51.7	6.6
有効雌穂割合 (%)		100	100	0.0

注1) 一昨年度から調査品種を「KD320」に変更。平年値は前5か年の平均。

注2) 推定TDN収量=乾物茎葉重×0.582+乾物雌穂重×0.850。

注3) 乾物収量や割合に関する一部の項目は、小数点以下の四捨五入などの計算方法により、表中の数値をもとに計算しても一致しない場合がある。

5) 大豆

作 況：平年並

月日	作況	事由
11月20日	平年並	播種は平年より2日遅い5月22日に行い、播種後は低温で経過したため、出芽期は平年より4日遅い6月8日であった。出芽後は気温が平年並から高く経過し、生育は順調に進んだ結果、開花始は平年より2日早い7月15日、成熟期は平年より11日早い9月11日であった。成熟期の主茎長、主茎節数、分枝数は平年をやや上回った。着莢数は平年をやや上回ったが、一莢内粒数は平年並で百粒重はやや軽かったため子実重は平年比102%であった。屑粒率は平年よりもやや低かったが、外観品質は平年よりもやや劣った。 以上のことから、本年の作況は「平年並」である。

生育データ

品種名		ユキホマレ		
調査項目		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.22	5.20	2
出芽期	(月.日)	6.08	6.04	4
開花始	(月.日)	7.15	7.17	△ 2
成熟期	(月.日)	9.11	9.22	△ 11
主茎長 (cm)	(6月20日)	11.2	9.2	2.0
	(7月20日)	53.0	50.3	2.7
	(8月20日)	64.0	61.9	2.1
	(9月20日)		63.5	
	(成熟期)	68.0	63.0	5.0
本葉 数(枚)	(6月20日)	1.7	0.9	0.8
	(7月20日)	7.2	7.9	△ 0.7
主茎節数	(8月20日)	10.0	10.2	△ 0.2
	(9月20日)		10.1	
	(成熟期)	10.5	10.1	0.4
分枝数 (本/株)	(7月20日)	5.4	4.7	0.7
	(8月20日)	6.2	5.4	0.8
	(9月20日)		5.0	
	(成熟期)	5.6	4.9	0.7
着莢数 (個/株)	(8月20日)	85.5	82.1	3.4
	(9月20日)		75.8	
	(成熟期)	81.8	75.5	6.3
一莢内粒数		1.87	1.93	△ 0.06
子実重(kg/10a)		372	366	6
同上平年比 (%)		102	100	2
百粒重 (g)		29.7	32.7	△ 3.0
屑粒率 (%)		0.7	1.7	△ 1.0
品質 (検査等級)		2中	2上	—

注1) 平年値は前7か年中、平成30年(最凶)、令和5年(最豊)を除く5か年の平均。

2) 8月の着莢数は、莢の長さが2cm以上のものを示す。

3) 子実重は水分15%換算。

4) 品質(検査等級)は造りによる検査である。

6) 小豆

作 況：良

月日	作況	事由
11月20日	良	<p>播種は平年より2日遅い5月22日に行い、播種後は低温で経過したため、出芽期は平年より2～3日遅い6月12日であった。出芽後は気温が平年並から高く経過し、生育は順調に進んだ結果、開花始は平年より3～4日早い7月21日、成熟期は「エリモショウズ」では平年より13日早い9月15日、「きたろまん」では14日早い9月13日であった。両品種ともに成熟期の分枝数は平年を下回ったが、主茎長および主茎節数は平年を上回った。一莢内粒数は「エリモショウズ」では平年をやや上回り、「きたろまん」では平年並で、両品種ともに百粒重は平年よりも軽い、着莢数は平年を上回ったため、子実重は「エリモショウズ」では平年比114%、「きたろまん」では平年比117%であった。両品種ともに屑粒率は平年を下回り、外観品質は「エリモショウズ」では平年よりもやや劣ったが、「きたろまん」では平年並であった。</p> <p>以上のことから、本年の作況は「良」である。</p>

生育データ

調査項目	エリモショウズ			きたろまん			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
播種期 (月.日)	5.22	5.21	1	5.22	5.21	1	
出芽期 (月.日)	6.12	6.09	3	6.12	6.10	2	
開花始 (月.日)	7.21	7.25	△ 4	7.21	7.24	△ 3	
成熟期 (月.日)	9.15	9.28	△ 13	9.13	9.27	△ 14	
主茎長 (cm)	(6月20日)	3.4	3.4	0.0	3.4	3.3	0.1
	(7月20日)	14.0	18.6	△ 4.6	15.0	17.6	△ 2.6
	(8月20日)	74.0	63.1	10.9	90.0	63.7	26.3
	(9月20日)		68.6			72.6	
	(成熟期)	84.7	67.4	17.3	100.7	68.9	31.8
本葉数 (枚)	(6月20日)	0.6	0.3	0.3	0.7	0.3	0.4
	(7月20日)	6.4	6.7	△ 0.3	6.4	6.4	0.0
主茎節数	(8月20日)	16.2	14.2	2.0	16.2	13.4	2.8
	(9月20日)		14.3			13.7	
	(成熟期)	17.3	14.0	3.3	16.6	13.5	3.1
分枝数 (本/株)	(7月20日)	2.1	2.3	△ 0.2	2.2	2.0	0.2
	(8月20日)	2.5	4.3	△ 1.8	2.1	3.3	△ 1.2
	(9月20日)		3.7			2.9	
	(成熟期)	2.4	4.3	△ 1.9	2.0	3.4	△ 1.4
着莢数 (個/株)	(8月20日)	65.9	38.7	27.2	57.3	36.4	20.9
	(9月20日)		51.2			49.7	
	(成熟期)	67.4	53.2	14.2	58.0	51.0	7.0
一莢内粒数	6.65	6.27	0.38	6.29	6.38	△ 0.09	
子実重(kg/10a)	423	372	51	429	368	61	
同上平年比 (%)	114	100	14	117	100	17	
百粒重 (g)	12.8	15.1	△ 2.3	15.4	16.8	△ 1.4	
屑粒率 (%)	5.8	9.1	△ 3.3	5.0	8.4	△ 3.4	
品質 (検査等級)	4中	4上	—	4上	4上	—	

注1) 平年値は前7か年中、令和5年(最凶)、令和元年(最豊)を除く5か年の平均。

2) 8月の着莢数は、莢の長さが3cm以上のものを示す。

3) 子実重は水分15%換算。

4) 品質(検査等級)は素俵による検査である。

7) 菜豆

作 況：不良

月日	作況	事由
11月20日	不良	播種は平年より2日遅い5月22日に行い、播種後は低温で経過したため、出芽期は平年より9日遅い6月11日であった。出芽後は気温が平年並から高く経過したが、降水量はやや少なかったことから、開花始は平年と同日の7月7日であった。開花後は高温で経過したため、成熟期は平年より5日早い8月26日であった。成熟期の草丈および分枝数は平年をやや上回ったが、主茎節数はやや下回った。着莢数は平年をやや上回ったが、一莢内粒数は少なく、百粒重もやや軽かったため、子実重は平年比83%であった。成熟期を迎えた8月下旬の降雨により変色粒（色流れ粒）が発生したため、屑粒率は平年よりも高く、外観品質は平年よりもやや劣った。 以上のことから、本年の作況は「不良」である。

生育データ

調査項目	大正金時			
	本年	平年	比較	
播種期 (月.日)	5.22	5.20	2	
出芽期 (月.日)	6.11	6.02	9	
開花始 (月.日)	7.07	7.07	0	
成熟期 (月.日)	8.26	8.31	△ 5	
草丈 (cm)	(6月20日)	10.0	11.1	△ 1.1
	(7月20日)	45.3	38.2	7.1
	(8月20日)	46.0	40.8	5.2
	(成熟期)	45.1	41.2	3.9
本葉数 (枚)	(6月20日)	1.1	1.1	0.0
	(7月20日)	3.2	3.9	△ 0.7
主茎節数	(8月20日)	5.0	5.4	△ 0.4
	(成熟期)	5.1	5.4	△ 0.3
分枝数 (本/株)	(7月20日)	6.1	5.6	0.5
	(8月20日)	6.5	5.4	1.1
	(成熟期)	6.4	5.5	0.9
着莢数 (個/株)	(8月20日)	23.7	20.2	3.5
	(成熟期)	21.4	20.2	1.2
一莢内粒数	2.47	2.83	△ 0.36	
子実重(kg/10a)	257	309	100	
同上平年比 (%)	83	100	△ 17	
百粒重 (g)	61.5	64.6	△ 3.1	
屑粒率 (%)	26.9	11.9	15.0	
品質 (検査等級)	4中	4上	—	

注1) 平年値は前7か年中、令和4年(最豊)、令和3年(最凶)を除く5か年の平均。

2) 子実重は水分15%換算。

3) 品質(検査等級)は素俵による検査である。

8) 馬鈴しょ 作 況：平年並

月日	作況	事由
11月20日	平年並	<p>植え付けは5月10日に行った。植え付け後の5月中旬～下旬は平均気温の変動が大きかったが、両品種の萌芽期は平年並であった。浴光催芽期間中の気温が高かったことから、両品種の茎数は平年よりも多かった。6月中旬～下旬の気温が平年よりも高かったことから、開花始は平年よりも2～3日早かった。6月下旬以降の降水がやや少なかったことから、生育が停滞し、茎長は「男爵薯」で平年並、「コナユタカ」は短かった。</p> <p>「男爵薯」の枯ちよう期は平年よりも8日早かった。上いも数は平年よりも多く、上いも平均重はやや軽かった。上いも重は平年比104%で、でん粉価は平年並であった。「コナユタカ」の枯ちよう期は、8月上旬～9月中旬まで高温で推移したことから、平年よりも13日早かった。上いも数は平年並であったが、上いも平均重が軽く、上いも重は平年比88%であった。でん粉価は平年よりも1.2ポイント高く、でん粉重は平年比94%であった。</p> <p>以上のことから、「男爵薯」と「コナユタカ」の収量を鑑み、本年の作況は「平年並」である。</p>

生育データ

調査項目	男爵薯			コナユタカ			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
植付期 (月.日)	5.10	5.11	△ 1	5.10	5.11	△ 1	
萌芽期 (月.日)	5.27	5.28	△ 1	5.30	5.31	△ 1	
開花始 (月.日)	6.24	6.27	△ 3	6.30	7.02	△ 2	
枯ちよう期 (月.日)	8.25	9.02	△ 8	9.30	10.13	△ 13	
茎長(cm)	(6月20日)	25	25	0	16	15	1
	(7月20日)	58	55	3	72	81	△ 9
	(8月20日)	56	56	0	93	104	△ 11
茎数(本/株)	(6月20日)	5.3	3.9	1.4	3.1	2.4	0.7
	(7月20日)	5.5	4.5	1.0	3.0	2.7	0.3
上いも重(kg/10a)	(8月20日)	5162	5140	22	4140	3994	146
	(9月20日)	5462	5227	235	5164	5873	△ 709
でん粉価(%)	(8月20日)	14.7	15.4	△ 0.7	19.7	18.8	0.9
	(9月20日)	15.0	15.1	△ 0.1	23.0	20.3	2.7
でん粉重(kg/10a)	(9月20日)	-	-	-	1135	1138	△ 3
上いも数(個/株)		11.9	10.9	1.0	8.3	8.0	0.3
上いも平均重(g)		104	109	△ 5	158	187	△ 29
上いも重(kg/10a)		5462	5227	235	5766	6532	△ 766
同上平年比(%)		104	100	4	88	100	△ 12
でん粉価(%)		15.0	15.1	△ 0.1	22.1	20.9	1.2
でん粉重(kg/10a)		-	-	-	1217	1295	△ 78
同上平年比(%)		-	-	-	94	100	△ 6

注) 平年値は前7か年中、平成30年(最凶)、令和3年(最豊)を除く5か年の平均

9) てんさい

作 況：平年並

月日	作況	事由
11月20日	平年並	<p>移植栽培の播種は、平年より1日早い3月23日に行った。以降、気温が高めに経過したため、育苗期間中の生育は良好であった。移植は平年より1日早い5月2日に行った。土壌条件は適湿であったため、活着は非常に良好であった。5月9日に降霜があったが、枯死する個体はほとんどなかった。</p> <p>直播栽培の播種は、平年より3日早い5月2日に行った。出芽期は、平年より4日早い5月12日であった。播種前後に降雨があり土壌水分が適湿であったため、出芽は良好であった。</p> <p>その後、5月上旬の気温は低かったが、中旬が極めて高かったため、草丈、生葉数、茎葉重ともに平年並となった。</p> <p>5月下旬は気温が低かったものの、6月上旬中旬は平年並以上に推移し、日照時間も6月上旬以降十分であったため、生育が進み、移植栽培、直播栽培とも、すべての項目で平年並あるいは平年をやや上回った。</p> <p>6月下旬から7月中旬は、気温が高く日照時間がやや多かったため生育が進み、草丈、生葉数、根重は平年を上回った。一方、降水量が平年よりやや少なかった影響で、移植の茎葉重は平年をやや下回った。</p> <p>7月下旬から8月中旬は、気温が高く、降水量、日照時間が十分であったため生育が進み、すべての項目で平年並あるいは平年を上回った。</p> <p>8月下旬から9月中旬は、気温がおおむね高く経過し、降水量、日照時間が十分であったため生育が進み、根中糖分以外のほぼすべての項目で、平年並あるいは平年を上回った。一方、根中糖分は、最低気温が高めに推移したため平年を下回った。</p> <p>収穫は、平年より2日早い10月18日に行った。</p> <p>9月下旬から10月中旬の気温はやや高く、降水量はやや多かったため、根部の肥大が進み、根重は平年を上回ったが、根中糖分は7月8月の最低気温が平年より高かったため、平年を下回った。糖量は、移植栽培では平年を下回ったが、直播栽培では平年を上回った。</p> <p>以上のことから、本年の作況は「平年並」である。</p>

生育データ

調査項目	移植						直播			
	ライエン			アマホマレ			ライエン			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
播種期 (月.日)	3.23	3.24	△ 1	3.23	3.24	△ 1	5.02	5.05	△ 3	
移植期 (月.日)	5.02	5.03	△ 1	5.02	5.03	△ 1	-	-	-	
出芽期 (月.日)	-	-	-	-	-	-	5.12	5.16	△ 4	
収穫期 (月.日)	10.18	10.20	△ 2	10.18	10.20	△ 2	10.18	10.20	△ 2	
草丈 (cm)	(5月20日)	6.0	7.1	△ 1.1	5.9	7.2	△ 1.3	-	-	-
	(6月20日)	23.0	22.3	0.7	26.3	23.9	2.4	21.8	14.1	7.7
	(7月20日)	54.8	51.8	3.0	55.6	54.7	0.9	57.9	49.7	8.2
	(8月20日)	58.8	56.2	2.6	63.7	61.3	2.4	61.8	58.2	3.6
	(9月20日)	59.2	57.3	1.9	66.9	63.7	3.2	62.9	60.1	2.8
生葉数 (枚)	(5月20日)	7.4	6.3	1.1	5.9	5.2	0.7	-	-	-
	(6月20日)	18.6	12.5	6.1	13.9	11.4	2.5	11.6	9.0	2.6
	(7月20日)	24.8	21.4	3.4	24.6	21.0	3.6	22.8	20.1	2.7
	(8月20日)	31.5	26.9	4.6	28.1	25.5	2.6	25.6	26.3	△ 0.7
	(9月20日)	31.6	29.7	1.9	28.0	27.8	0.2	27.7	29.1	△ 1.4
茎葉重 (g/個体)	(5月20日)	1.3	1.2	0.1	1.4	1.3	0.1	-	-	-
	(6月20日)	66	65	1	87	68	19	49	14	35
	(7月20日)	465	531	△ 66	538	578	△ 40	533	411	122
	(8月20日)	780	796	△ 16	923	854	69	856	716	140
	(9月20日)	765	723	42	875	842	33	752	737	15
根重 (g/個体)	(6月20日)	17	16	1	25	17	8	6	1	5
	(7月20日)	282	256	26	280	256	24	251	142	109
	(8月20日)	780	706	74	776	724	52	724	563	161
	(9月20日)	1031	973	58	1000	1004	△ 4	990	853	137
根周 (cm)	(7月20日)	23.2	23.5	△ 0.3	22.9	22.7	0.2	22.6	19.1	3.5
	(8月20日)	34.0	34.0	0.0	33.6	32.2	1.4	34.0	30.6	3.4
	(9月20日)	38.6	37.9	0.7	37.6	37.0	0.6	37.8	35.9	1.9
根中糖分 (%)	(9月20日)	15.62	16.99	△ 1.37	15.93	16.79	△ 0.86	16.60	16.73	△ 0.13
茎葉重(kg/10a)	(収穫期)	5109	5410	△ 301	5164	5873	△ 709	5105	5185	△ 80
根重(kg/10a)	(収穫期)	7945	7514	431	7221	7024	197	7649	6382	1267
同上平年比 (%)		106	100	6	103	100	3	120	100	20
根中糖分 (%)	(収穫期)	16.42	18.34	△ 1.92	16.99	18.74	△ 1.75	17.27	18.54	△ 1.27
同上平年比 (%)		90	100	△ 10	91	100	△ 9	93	100	△ 7
糖量(kg/10a)	(収穫期)	1304	1377	△ 73	1227	1316	△ 89	1320	1182	138
同上平年比 (%)		95	100	△ 5	93	100	△ 7	112	100	12

注1) 平年値は前7か年中、令和3年(最豊)令和5年(最凶)を除く5か年の平均。

10) 牧草 (チモシー)

作 況 : 良

月日	作況	事由
11月20日	良	<p>1番草：萌芽期は平年より1日早い4月16日で、冬損は認められなかった。5月下旬の降水量が多く、6月上旬の日照時間がやや多かったことから、1番草の出穂始および出穂期はそれぞれ平年より2-3日早い6月7日および6月12日であり、乾物収量は平年比109%とやや多収であった。</p> <p>2番草：収穫は平年より3日早い8月1日に行った。1番草収穫後の平均気温が並～高く経過し、7月下旬から8月上旬の降水量が極めて多かったことから、2番草の乾物収量は平年比140%と多収であり、1番草と2番草の合計乾物収量は平年比117%であった。</p> <p>3番草：収穫は平年より2日早い10月1日に行った。8月下旬～9月中旬の平均気温が平年に比べ高く、日照時間はやや多かったことから、乾物収量は平年より36%多い177kg/10aであった。また、1～3番草の合計乾物収量は平年比120%と多収であった。</p> <p>以上のことから、本年の作況は「良」である。</p>

生育データ

品種名 調査項目		なつちから		
		本年	平年	比較
萌芽期	(月. 日)	4.16	4.17	△ 1
冬損程度		1.0	1.0	0.0
被度 (%)	(5月20日)	100	100	0
	2番草再生時	100	100	0
出穂始 (月. 日)		6.07	6.10	△ 3
出穂期 (月. 日)		6.12	6.14	△ 2
出穂程度	1番草	6.0	7.0	△ 1.0
節間伸長程度	2番草	4.0	4.0	0
収穫日	1番草	6.12	6.16	△ 4
	2番草	8.01	8.04	△ 3
	3番草	10.01	10.03	△ 2
倒伏程度	1番草	1.0	1.0	0
病害罹病程度	1番草	1.0	1.0	0
	2番草	2.6	2.0	0.6
	3番草	2.8	3.0	△ 0.2
草丈 (cm)	(5月20日)	55	43	12
	(6月5日)	82	79	3
	1番草	98	99	△ 1
	2番草再生時	32	37	△ 5
	2番草	52	60	△ 8
	3番草再生時	40	35	5
生草収量 (kg/10a)	1番草	2,588	2,425	163
	2番草	914	687	227
	1+2番草計	3,502	3,112	390
	3番草	564	457	107
	合 計	4,066	3,570	496
	乾物率 (%)	1番草	23.2	23.0
2番草		28.7	29.0	△ 0.3
3番草		31.3	29.0	2.3
乾物収量 (kg/10a)	1番草	601	553	48
	同上平年比 (%)	109	100	9
	2番草	263	188	75
	同上平年比 (%)	140	100	40
	1+2番草計	864	741	123
	同上平年比 (%)	117	100	17
	3番草	177	130	47
	同上平年比 (%)	136	100	36
合 計	1,041	870	171	
同上平年比 (%)	120	100	20	

注1) 平年値は前7か年のうち令和4年(最豊)、令和5年(最凶)を除いた前5か年の平均値。

注2) 冬損程度は1:無または微~9:甚。出穂程度および節間伸長程度は1:無~9:極多。倒伏程度および病害罹病程度は1:無または微~9:甚。病害は主に斑点病。